

2022年度 愛知校学校関係者評価委員会「2021年度活動評価」結果報告書

1. 開催日時 2022年6月23日(木) 14:00-16:00

2. 開催場所 日産愛知自動車大学校 多目的ルーム

3. 出席者

(学校外委員) 地域代表 長谷川 博久 様 名古屋市港区役所 区政部長
 企業代表 藤原 謙二 様 東海日産自動車株式会社 管理本部執行役員 管理本部長
 関係団体代表 田中 明一 様 愛知県自動車整備振興会 部長
 卒業生代表 寺西 貴弘 様 愛知日産自動車株式会社 係長 (整備科10期卒業生)

(学校内委員) 学校長 松川 健一
 教育部長代理 鈴木 貴久 教育部
 課長 加藤 敏彦 教育部 (兼)学務部
 課長代理 中川 安行 学務部
 統括 上谷 晃一 教育部 カーボディマスター科

4. 議題

- 挨拶(松川)
- 学校自己点検・自己評価結果等説明 …「2021年度自己点検、自己評価報告書」のうち、特に下記の内容について説明
 - ①昨年のご意見の受け止め
 - ②学生募集・就職
 - ④教育活動
 - ⑤社会貢献活動
- 意見交換

5. 議論

- 結論 今回の自己点検、自己評価報告内容について、全委員からご意見を伺うことができた。同時に、貴重な意見・指摘を頂いたので、以下の受け止めのとおり対応していく。
- 項目別評価と質疑応答

項目	基準	所属	質問者	主な意見
意見	学生の募集と受け入れ	港区役所	長谷川様	自動車整備の専門学校は、学生を募集するにあたり、学校の特色、魅力を伝えてほしい。
		整備振興会	田中様	人材確保・育成連絡会にて各都道府県で様々な活動をしている。整備専門学校協会と連携して高校へ訪問、PRをしている。高校の先生からも「クルマに興味があるという生徒が少ない」また、保護者が進路決定権を持っており、土日休日など労働条件も踏まえて決めている。また、愛知県は、自動車産業が盛んで保護者が自動車メーカーに勤めておられる方も多いためからメーカーに進むケースもある。今後は、高校生だけではなく、中学生、小学生への働きかけが必要だと考える。
		東海日産	藤原様	・他校の先生などと話すと、東海地区はものづくり産業が盛んであるが、工業技術系、理科系の中でも今は、自動車整備のような現場ではなく、コロナ禍でのリモートワークなどによる影響もあるが、IT関係などの仕事に向いている傾向にあることから高校生でなく小学生、中学生くらいからクルマの魅力を伝えて将来はこうなりたいという人を育てていく必要がある。 ・工業技術系の仕事においては、外国人が日本に入ってきている。日産愛知校も留学生が多いと聞いているが、今後留学生をどのように戦力として活用していくかに目を向けていく事で人財不足を補う手立てにもなるのではないかと。 ・東海地区はものづくりのブランド力が強いこともあり、コロナが明ければ人財も集まると考える。
		愛知日産	寺西様	・幼少時代から車に興味を持ってもらうのが大切。小学生で職業体験の一つとして「キッズニア」などで自動車整備の仕事を経験する場で興味をもつことが非常に大きな影響を与えることを実感している。小学生にとっては映画、テレビなどの影響も大きい。 オープンキャンパスで参加者に「ツナギ」を着用してもらうようなことも、普段経験できない整備士の仕事を感じられて興味を引くと考える。
		回答、受止め		・他2社自動車メーカーについても同様に自動車整備専門学校がある。特に東海地区においては、当校含めて2社のメーカー校、その他一般校が多くあり、18歳人口の激減や若者の車離れなどからも非常に厳しい状況であり、どの学校も様々な取り組みをしている。電気自動車など日産の特色、魅力(USP)を対象となる高校生などに解かり易くお伝えして学生募集につなげたい。 ・本校入学者の傾向として、工業高校からの入学者よりも、普通高校からの入学者が多いのが現状。愛知県は特にものづくりが盛んであり、高校選択時に工業高校を選んだ学生は進学ではなく、メーカー系に就職をしていく状況となっている。中学生、小学生への自動車、自動車整備の魅力を働きかける取り組みを検討していく。
意見	就職実績について	東海日産	藤原様	自動車のディーラーについては、コロナの影響を受けない安定した業種である。学生さんにもこのような逆境に強い業種であることをPRして人財確保につなげて欲しい。
		回答、受止め		コロナなどの影響を受けない安定している業種であること、OBの現場での活躍を伝える場を設けて、将来のキャリアプランが見えることで自動車ディーラーへの希望を増やす取り組みを検討していく。
意見	教育活動	東海日産	藤原様	動画コンテンツは、内部で見えない機構や想像しにくい動きを視覚に訴える為、イメージや理解しやすいので非常に有効だと感じている。
		回答、受止め		【ITC化に向けての取り組み】 オンデマンド授業として動画教材を作成し、配信を行っている。学生は、自分の苦手なポイントやわかりづらい所を、繰り返し確認できる様になり、理解度が上がっている。このコンテンツは特に、日本語が難しい留学生には、教員に何度も聞く事なく自ら学習できる為特に有効だと判断している。 【自主性・主体性の取り組みについて】 学生の授業の取り組み姿勢や、考え方についての評価は難しいが、人間的な成長や向上心を促す上では基準を提示する事は目標設定になる。そこでルーブリック評価とPROGという客観的な指標を導入した。 ルーブリック評価では、なにを持って評価しているかを学生に開示し、学生と教員が同じ判断軸を使うことで学生もどのように動くことが重要かを理解し自主的な取り組みを行えるようにした。 PROGは若い実業家の意見を抽出し、成功者がどのような価値軸で判断したかを好評価としたものを数値化した適正検査のようなもので各パートを点数化されているため、成長度合いの判断が行い易い特長がある。よって成長過程の判断をするルーブリック評価と、結果としてのPROGを活用し、客観的な確認としている。
意見	社会貢献・地域貢献	港区役所	長谷川様	ボランティア、クリーンパートナー活動など就職後の活動での意識向上につながれば良いと考える。クリーンパートナー活動の際に日産の名前入りのビブスを使うと地域の方に知っていただくためにも良い。ふれあい広場(10月、11月)に実施予定。
		回答、受止め		・ボランティア、クリーンパートナーなど当校の取り組みについては、地域の方々にご理解いただく意味においても継続していきたい。 地域にある学校として活動することで地域の方に知っていただく。またこのような活動でのマインド醸成により、卒業後の社会生活にも役立つ取り組みと捉えている。